

厚生労働省「仕事と生活の調和推進モデル事業」への参加について

ANA は、平成 20 年度に、厚生労働省が実施する、ワーク・ライフ・バランスの推進を目的とした「仕事と生活の調和推進モデル事業」(別添資料参照)に参画いたします。

この度、ANA は、社団法人日本経済団体連合会(日本経団連)から、本モデル事業への参加についての推薦を受け、ワーク・ライフ・バランス実現の重要性や本事業の趣旨に賛同し、参加企業 10 社のうちの 1 社として参画を決定しました。

これまで ANA では、「仕事と生活の両立支援」に関して、昨年 4 月に「いきいき推進室」を設置、専用の社内ホームページを開設したり、育児休職者向けのオリジナル胎教 CD「anamama(アナママ)」を作成するなど、社員が「仕事」と「生活」を両立させ、いきいきと働ける環境を目指した取り組みをすすめて参りました。

今後は、従来の取り組みを拡大、社内に浸透させるとともに、社員一人ひとりがライフスタイルや価値観を大切にしながら能力を発揮していける制度や、社員が自立的に「仕事」と「生活」をマネジメントし、イノベーションにつながるような創造性の高い仕事を実践していける環境・風土づくりをより積極的に推しすすめて参ります。

つきましては、今後、モデル企業として、経営トップによる取り組みに向けての宣言を行い、実施内容を選定して、先行的に取り組んでいくとともに、今年度中にワーク・ライフ・バランスを実現するための取り組み事項、達成目標等を盛り込んだ「アクション・プログラム」を策定していく予定です。

なお、本事業の詳細につきましては、別紙の厚生労働省による発表資料(4月11日(金)午前10時に厚生労働省より厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、労政記者クラブに対し発表)をご参照ください。

以 上

「仕事と生活の調和推進モデル事業」の概要

厚生労働省が「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を踏まえた具体的な取り組みとして実施するものであり、社会的影響力のある我が国を代表する企業 10 社をモデル企業として選定し、各企業が「ワーク・ライフ・バランス」実現に向けて積極的に取り組むことで社会的機運の醸成を図ることを目的としています。